

2020年度 年末手当シリーズ②⑤

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

厳しい闘いですが、頑張って満額回答をお願いします！

ホームページの「メールメッセージ」に共感して、一生懸命声をあげる現場のJR労働者がいる！今こそ会社は、将来を見据えた社員への投資をすべきだ！モチベーションを上げ、社員が一丸となってこの危機を乗り越えるために大きな決断を！

3.0ヶ月満額勝ちとろう！

世の中「鬼滅の刃」がこんな盛り上がっているから、会社もコロナ、景気に負けないぐらい出して欲しい！

社宅・住宅手当の制限、持ち家の奨励等々の会社施策でローンを抱えている社員は多く存在しています。ローン返済や生活していく上で年末手当は不可欠であり、会社の体力からして**3.0ヶ月**の要求に誠意を持って応えるべきと考えます！

要求3.0ヶ月満額獲得！

ぜひとも「第2回団体交渉」では会社幹部のボーナスカット（自主返納）を求めて下さい！夏季では社長はたった5%の減給でしたが、冬季は社長だけでなく会社取締役全員と、現場長もボーナスカットの対象にして良いぐらいだと思います！コロナ発症時点から危険にさらされた手当として社員に還元して欲しい。粘り強い交渉頑張って下さい！

コロナ禍に乗じて社員に求めるだけでなく、満額回答で社員に希望を与えてほしい！

交渉委員のみなさん、年末手当第1回団体交渉、大変お疲れさまでした！
私たちの声・現場社員の想いを会社経営陣にぶっつけていただき、ありがとうございました m(_ _)m
しかし、納得いかないのが、第1回団体交渉と第2回団体交渉の開催日程の設定。会社の対応に大変怒りを感じます。私たちの要求第5項目を反故にされた感じです！
会社の対応を含めて、我々の主張にさらに怒りを込めて第2回団体交渉に望んでください！よろしくをお願いします！